

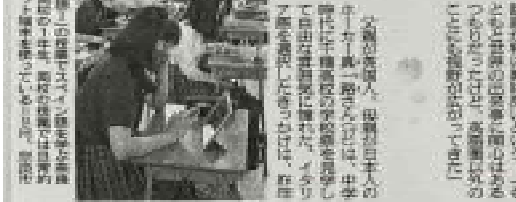
語学 英語だけじゃない

いま 10月
子どもたちは
二つ目の外国語 ①



イタリヤ語の授業を受ける愛知県立千種高校・陸奥町分校の生徒たち。7月、名古屋市東区

来月下旬、愛知県立千種高校の陸奥町分校で、外国語を学ぶ生徒たちが、二つ目の外国語の授業を受けている。この日は、イタリヤ語の授業が行われていた。生徒たちは、先生の話すイタリア語に集中して聞いていた。先生は、黒板に「イタリア語の授業」を書いて、生徒たちに向かって話していた。



愛知の高校で、外国語を学ぶ生徒たち。7月、名古屋市東区

全国で、英語以外の外国語を学ぶ高校が増えている。その数は、2022年5月1日現在、全国の公立・私立高校で、英語以外の外国語の科目を教習している。最も多いのは中国語で、約1万6000人が習得している。これに韓国語(約1万2000人)、仏語(約1万1000人)、スペイン語(約1万1000人)が続く。習得人数は5000人以上の高校が、タイ語、モンゴル語、ネパール語、アラビア語などを学んでいる。愛知県立千種高校の陸奥町分校から、愛知県教育大学の吉村伸二教授(国際教育)は、複数の外国語を学ぶ意義について「英語以外の外国語を学ぶことで、

「英語以外の外国語を学ぶことで、国際社会で活躍する機会が増える。また、外国語を学ぶことで、異文化理解が深まり、グローバル社会で活躍する能力が身につく。さらに、外国語を学ぶことで、就職先が広がる。特に、国際貿易や観光業などでは、外国語能力が求められる。また、外国語を学ぶことで、海外旅行や留学が楽しくなる。これは、学生の将来にとって非常に重要なスキルである。愛知県教育大学の吉村伸二教授は、外国語を学ぶ意義について「英語以外の外国語を学ぶことで、国際社会で活躍する機会が増える。また、外国語を学ぶことで、異文化理解が深まり、グローバル社会で活躍する能力が身につく。さらに、外国語を学ぶことで、就職先が広がる。特に、国際貿易や観光業などでは、外国語能力が求められる。また、外国語を学ぶことで、海外旅行や留学が楽しくなる。これは、学生の将来にとって非常に重要なスキルである。」と話す。

全国の高校で18言語 最多は中国語

英語以外の外国語を学ぶ高校が増えている。その数は、2022年5月1日現在、全国の公立・私立高校で、英語以外の外国語の科目を教習している。最も多いのは中国語で、約1万6000人が習得している。これに韓国語(約1万2000人)、仏語(約1万1000人)、スペイン語(約1万1000人)が続く。習得人数は5000人以上の高校が、タイ語、モンゴル語、ネパール語、アラビア語などを学んでいる。愛知県立千種高校の陸奥町分校から、愛知県教育大学の吉村伸二教授(国際教育)は、複数の外国語を学ぶ意義について「英語以外の外国語を学ぶことで、国際社会で活躍する機会が増える。また、外国語を学ぶことで、異文化理解が深まり、グローバル社会で活躍する能力が身につく。さらに、外国語を学ぶことで、就職先が広がる。特に、国際貿易や観光業などでは、外国語能力が求められる。また、外国語を学ぶことで、海外旅行や留学が楽しくなる。これは、学生の将来にとって非常に重要なスキルである。」と話す。

英語以外の外国語を学ぶ高校が増えている。その数は、2022年5月1日現在、全国の公立・私立高校で、英語以外の外国語の科目を教習している。最も多いのは中国語で、約1万6000人が習得している。これに韓国語(約1万2000人)、仏語(約1万1000人)、スペイン語(約1万1000人)が続く。習得人数は5000人以上の高校が、タイ語、モンゴル語、ネパール語、アラビア語などを学んでいる。愛知県立千種高校の陸奥町分校から、愛知県教育大学の吉村伸二教授(国際教育)は、複数の外国語を学ぶ意義について「英語以外の外国語を学ぶことで、国際社会で活躍する機会が増える。また、外国語を学ぶことで、異文化理解が深まり、グローバル社会で活躍する能力が身につく。さらに、外国語を学ぶことで、就職先が広がる。特に、国際貿易や観光業などでは、外国語能力が求められる。また、外国語を学ぶことで、海外旅行や留学が楽しくなる。これは、学生の将来にとって非常に重要なスキルである。」と話す。